

先行山口/点検線縦断面	概要	懸案調整	要望・備考
<p>①Think Cycling ネットワーク/オンロード企画 情報発信・人材交流・春需でソフト</p>	<p>・山口サイクリングプロジェクト研究会(仮称) ☆YCPK/***** *****⇒懸案・調整</p>	<p>自転車観光メンテナンス/志賀様 お世話になります。 お盆前後の天候不順で、夏企画利用者のデータが取れず、9月になってから、らかん高原CS秋場所の企画調整を、志賀さんや林さんに相談し、オレンジロワイール実施を目指しましたが、やはりと言うか、独立自然公園の壁により当りたてしまいました。 藤原高野で「トレイルメンテナンス」をコア企画に、徐々に守備範囲を広げようと思いましたが、岩国市の石橋を叩いても貰えない姿勢に、二歩前進、三歩後退を余儀なくされ、「自転車観光メンテナンス」という、新しく古い考えに舵を切ったところで。 「トレイルメンテナンス」という、MTB寄りの考えで自転車市民獲得を目指す場合、「ロード＆オープン」がその意図の軸と考えました。 それは「シノバカイズ重宝山見メゾム」のように、表向きはレースメニューで募集して、内容的にはツーリングメニューで人気を博す形で、山道走行のグループを徐々にホワイトにするもの、それを藤原高野で具体化しようと思いましたが、やはり、見届いた！！ 確かに、岩国市の無理解や、自然公園の壁はありますが、山代羅エリアの可能性を分析できたこと、そして、サイクルステーションの認定を受けたこと、さらに現在のMTBダンクヘルドの単行職員や、県内最大No.1ショップのオーナーや、車庫連、県協会の理事などとも連絡を取っており、実験企画の続きを「先行山口」として行うことは有意義だと思っています。 さらに、この9月以降、短期間ながら、農林水産事務所の担当者や、観光生サミットのスタッフ、地域おこし協力隊に就任した新入との意見交換等もあり、新しく古い「自転車観光メンテナンス」という考えに舵を切る決断をしたところでです。 藤原高野地元の化驗から、山口自然公園へは観光型自転車利用を、「先行山口」と「自転車観光メンテナンス」の関係を整理して下記URLにまとめた上でのご連絡になります。 ▼WJ/M/自転車観光メンテナンス(とは?) https://bikejoy.web.fc2.com/toretsure/GR/JKM_001112.htm#flow ▼WJ/M/自転車観光メンテナンス(とは?) https://bikejoy.web.fc2.com/toretsure/GR/JKM_001112.htm#flow その「自転車観光メンテナンス」は、MTB企画で自転車市民獲得を目指す「ロード＆オープン」に、スタッフが自然増殖する「開拓方式」と、観光資源変化を自転車目線で観察する「観光メンテナンス」を加えたもので、言い換えるなら、サイクリング先進の自然増殖する玉石混濁自転車ソフトを容納する「地域貢献型マルチサイクリングクラブ」を立ち上げ、人材育成や地域資源再発見や地域課題解決との接点を増やし、日常利用とスポーツ利用の両輪を推し進めるもの、となります。 その実証実験企画「先行山口」は、「(1)Think Cycling」「(2)Think MTB」「(3)Closed & Open & Zapping」に大別しており、下記URLの「YCPK」で山口からのき封閉への再アプローチを考えています。 ▼先行山口/山口サイクリングプロジェクト研究会(仮称) https://bikejoy.web.fc2.com/toretsure/GR/JKM_Memo.htm#1 考えられている、確定部分は無い状態、概観的には「懸案・調整」としてはありますが、事業内容的には「フラーベーパー」/「学習 THT26」「CS コラボ AB」を、組織的には「県西部」と「県東部」に共同代表を置き、「県央」に事務局を設置する形「(1)」を想定しています。 また、超グーの山道走行や、玉石混濁自転車ソフトについては、守備範囲外とし、別枠で当たる形「(2)」「(3)」を想定しています。 と言った形の窓口分組案ですが、如何でしょうか？ 他のメンバーや、追加予定メンバーにも、同様のメールを出した上で、一度、集まりを持ちたいと思います。 以上、宜しくお願いいたします。 (いへまる) ※別紙の動きとして、12月18日(土)に英株市八代(くもろ) (旧八代小学校)で、観光生サミットとのコラボ企画の打ち合わせを行う予定です。</p>	<p>(案内メールの内容を転記)</p>
<p>らかん清流サイクルステーション</p>	<p>・らかん清流サイクルステーション ★RSCS/フリーデプラン⇒春企画・夏秋企画・冬企画</p>	<p>林様 お世話になります。 今年3月の「ワンダリングZ山代(注)」では、大変お世話になりました。終了後の反省会にも出席して頂き、重ねてお礼申し上げます。 その反省会でも申し上げたように、いわゆる研究会(注)では、合併で拡大した岩国市の福祉化を目指しており、それは町と里とで離れた生活環境のバランスを見直すことです。 私自身、高校時代から過疎化や環境破壊(当時は公害問題)に関心を持っていました。それはサイクリングで岩国市を巡るだけで、農校や規模縮小校を多く目にしており、また目の前の瀬戸内海のPCB汚染ショックを受けていました。 大学、社会人と、サイクリングを通じて、クラブ運営や、団体の守備範囲や、仕事の幅など、有形無形の影響があり、その中には、日本の自転車走行環境の矛盾(注)も含まれていました。 その矛盾のひとつに、都会と田舎の格差差もあり、それを埋めようために、欧米の自転車道事情を学びに行きました。 そして導入したのが「これとハイウェイ(注)」であり、その全日本版が「レイド・オープンディアン1998/砂鉄のみちをゆく(注)」のコース調査に依り、町と里のバランスの崩壊を確信しました。 それは地形を頼りに山陰の山間に続く谷筋の道を探っている時、最もある民家で、おじいさんのおじいさんの代には、この先の峠を越えて行商に付たとの情報を得て、苦勞して何となく抜けたことでした。しかしその情報は、今後は必要ない。 そして「レイド・オープンディアン2009/銀の道・銀の道」で、山代エリアの古道を調査し、このエリアの可能性に触れ、設立したばかりのいわくに研究会に対して、山代エリアへのアプローチも説明し、2011年には「岩国あるたドライブ(注)」の原案も作成した。柳井や岩国の里山で行って中断していた「これとハイウェイ」を、「やましろ MTB ツアーズ(注)」として実験企画的に復活させたのは2016年4月。そして、「有らかん高原の林社長に出会ったのが2017年元旦で、そこから今に至っています。 やましろ編です。 山代羅エリアで山道走行や玉石混濁自転車ソフトについては、守備範囲外とする可能性はありますが、藤原高野の特殊性に悩まされた部分もありです。 コロナ禍で発生した風潮、県から「サイクルステーション」に認定され、イベントが許可されました。 それを機として「藤原と話し合/「E/バイクフィールド！」」を機として、この9月になってから、らかん高原サイクルステーションの委嘱の本格オープンを目指して、そのキックオフイベントとして2019年夏も実施したレゾロロイールを計画しましたが、やはりと言うか、独立自然公園の壁により当りたてしまいました。(※オレンジロワイール当日、広中さんから天井画を拝見していました) 藤原高野で「トレイルメンテナンス」をコア企画に、徐々に守備範囲を広げようと思いましたが、岩国市の石橋を叩いても貰えない姿勢に、二歩前進、三歩後退を余儀なくされ、「自転車観光メンテナンス」という、新しく古い考えに舵を切ったところで。 「トレイルメンテナンス」は、MTBの山道走行環境問題に向き合うもの、矛盾のひとつです。 その解決策として「ロード＆オープン」があります。 それは「シノバカイズ重宝山見メゾム」のように、表向きはレースメニューで募集して、内容的にはツーリングメニューで人気を博す形で、山道走行のグループを徐々にホワイトにするもの、それを藤原高野で具体化しようと思いましたが、やはり、見届いた！！ 確かに、岩国市の無理解や、自然公園の壁はありますが、山代羅エリアの可能性を分析できたこと、そして、サイクルステーションの認定を受けたこと、さらに現在のMTBダンクヘルドの単行職員や、県内最大No.1ショップのオーナーや、車庫連、県協会の理事などとも連絡を取っており、実験企画の続きを「先行山口」として行うことは有意義だと思っています。 さらに、この9月以降、短期間ながら、農林水産事務所の担当者や、観光生サミットのスタッフ、地域おこし協力隊に就任した新入との意見交換等もあり、新しく古い「自転車観光メンテナンス」という考えに舵を切る決断をしたところでです。 藤原高野地元の化驗から、山口自然公園へは観光型自転車利用を、「先行山口」と「自転車観光メンテナンス」の関係を整理して下記URLにまとめた上でのご連絡になります。 ▼WJ/M/自転車観光メンテナンス(とは?) https://bikejoy.web.fc2.com/toretsure/GR/JKM_001112.htm#flow ▼WJ/M/自転車観光メンテナンス(とは?) https://bikejoy.web.fc2.com/toretsure/GR/JKM_001112.htm#flow その「自転車観光メンテナンス」は、MTB企画で自転車市民獲得を目指す「ロード＆オープン」に、スタッフが自然増殖する「開拓方式」と、観光資源変化を自転車目線で観察する「観光メンテナンス」を加えたもので、言い換えるなら、サイクリング先進の自然増殖する玉石混濁自転車ソフトを容納する「地域貢献型マルチサイクリングクラブ」を立ち上げ、人材育成や地域資源再発見や地域課題解決との接点を増やし、日常利用とスポーツ利用の両輪を推し進めるもの、となります。 その実証実験企画「先行山口」は、「(1)Think Cycling」「(2)Think MTB」「(3)Closed & Open & Zapping」に大別しており、下記URLの「YCPK」で山口からのき封閉への再アプローチを考えています。 ▼先行山口/山口サイクリングプロジェクト研究会(仮称) https://bikejoy.web.fc2.com/toretsure/GR/JKM_Memo.htm#1 考えられている、確定部分は無い状態、概観的には「懸案・調整」としてはありますが、事業内容的には「フラーベーパー」/「学習 THT26」「CS コラボ AB」を、組織的には「県西部」と「県東部」に共同代表を置き、「県央」に事務局を設置する形「(1)」を検討しています。 また、超グーの山道走行や、玉石混濁自転車ソフトについては、守備範囲外とし、別枠で当たる形「(2)」「(3)」を想定しています。 と言った形の窓口分組案ですが、如何でしょうか？ 他のメンバーや、追加予定メンバーにも、同様のメールを出した上で、一度、集まりを持ちたいと思います。 以上、宜しくお願いいたします。 (いへまる) ※別紙の動きとして、12月18日(土)に英株市八代(くもろ) (旧八代小学校)で、観光生サミットとのコラボ企画の打ち合わせを行う予定です。</p>	<p>(案内メールの内容を転記)</p>
<p>②Think MTB トレイルメンテナンス/オフロード企画 林道・山道・柏道・ダートコース</p>	<p>・柏道再生計画やましろ(仮称) ☆SSKY/***** *****⇒懸案・調整</p>	<p>仙道再生計画やましろ/広中英明様 お世話になります。(長文失礼します) 今年3月の「ワンダリングZ山代(注)」では、大変お世話になりました。終了後の反省会にも出席して頂き、重ねてお礼申し上げます。 その反省会でも申し上げたように、いわゆる研究会(注)では、合併で拡大した岩国市の福祉化を目指しており、それは町と里とで離れた生活環境のバランスを見直すことです。 私自身、高校時代から過疎化や環境破壊(当時は公害問題)に関心を持っていました。それはサイクリングで岩国市を巡るだけで、農校や規模縮小校を多く目にしており、また目の前の瀬戸内海のPCB汚染ショックを受けていました。 大学、社会人と、サイクリングを通じて、クラブ運営や、団体の守備範囲や、仕事の幅など、有形無形の影響があり、その中には、日本の自転車走行環境の矛盾(注)も含まれていました。 その矛盾のひとつに、都会と田舎の格差差もあり、それを埋めようために、欧米の自転車道事情を学びに行きました。 そして導入したのが「これとハイウェイ(注)」であり、その全日本版が「レイド・オープンディアン1998/砂鉄のみちをゆく(注)」のコース調査に依り、町と里のバランスの崩壊を確信しました。 それは地形を頼りに山陰の山間に続く谷筋の道を探っている時、最もある民家で、おじいさんのおじいさんの代には、この先の峠を越えて行商に付たとの情報を得て、苦勞して何となく抜けたことでした。しかしその情報は、今後は必要ない。 そして「レイド・オープンディアン2009/銀の道・銀の道」で、山代エリアの古道を調査し、このエリアの可能性に触れ、設立したばかりのいわくに研究会に対して、山代エリアへのアプローチも説明し、2011年には「岩国あるたドライブ(注)」の原案も作成した。柳井や岩国の里山で行って中断していた「これとハイウェイ」を、「やましろ MTB ツアーズ(注)」として実験企画的に復活させたのは2016年4月。そして、「有らかん高原の林社長に出会ったのが2017年元旦で、そこから今に至っています。 やましろ編です。 山代羅エリアで山道走行や玉石混濁自転車ソフトについては、守備範囲外とする可能性はありますが、藤原高野の特殊性に悩まされた部分もありです。 コロナ禍で発生した風潮、県から「サイクルステーション」に認定され、イベントが許可されました。 それを機として「藤原と話し合/「E/バイクフィールド！」」を機として、この9月になってから、らかん高原サイクルステーションの委嘱の本格オープンを目指して、そのキックオフイベントとして2019年夏も実施したレゾロロイールを計画しましたが、やはりと言うか、独立自然公園の壁により当りたてしまいました。(※オレンジロワイール当日、広中さんから天井画を拝見していました) 藤原高野で「トレイルメンテナンス」をコア企画に、徐々に守備範囲を広げようと思いましたが、岩国市の石橋を叩いても貰えない姿勢に、二歩前進、三歩後退を余儀なくされ、「自転車観光メンテナンス」という、新しく古い考えに舵を切ったところで。 「トレイルメンテナンス」は、MTBの山道走行環境問題に向き合うもの、矛盾のひとつです。 その解決策として「ロード＆オープン」があります。 それは「シノバカイズ重宝山見メゾム」のように、表向きはレースメニューで募集して、内容的にはツーリングメニューで人気を博す形で、山道走行のグループを徐々にホワイトにするもの、それを藤原高野で具体化しようと思いましたが、やはり、見届いた！！ 確かに、岩国市の無理解や、自然公園の壁はありますが、山代羅エリアの可能性を分析できたこと、そして、サイクルステーションの認定を受けたこと、さらに現在のMTBダンクヘルドの単行職員や、県内最大No.1ショップのオーナーや、車庫連、県協会の理事などとも連絡を取っており、実験企画の続きを「先行山口」として行うことは有意義だと思っています。 さらに、この9月以降、短期間ながら、農林水産事務所の担当者や、観光生サミットのスタッフ、地域おこし協力隊に就任した新入との意見交換等もあり、新しく古い「自転車観光メンテナンス」という考えに舵を切る決断をしたところでです。 藤原高野地元の化驗から、山口自然公園へは観光型自転車利用を、「先行山口」と「自転車観光メンテナンス」の関係を整理して下記URLにまとめた上でのご連絡になります。 ▼WJ/M/自転車観光メンテナンス(とは?) https://bikejoy.web.fc2.com/toretsure/GR/JKM_001112.htm#flow ▼WJ/M/自転車観光メンテナンス(とは?) https://bikejoy.web.fc2.com/toretsure/GR/JKM_001112.htm#flow その「自転車観光メンテナンス」は、MTB企画で自転車市民獲得を目指す「ロード＆オープン」に、スタッフが自然増殖する「開拓方式」と、観光資源変化を自転車目線で観察する「観光メンテナンス」を加えたもので、言い換えるなら、サイクリング先進の自然増殖する玉石混濁自転車ソフトを容納する「地域貢献型マルチサイクリングクラブ」を立ち上げ、人材育成や地域資源再発見や地域課題解決との接点を増やし、日常利用とスポーツ利用の両輪を推し進めるもの、となります。 その実証実験企画「先行山口」は、「(1)Think Cycling」「(2)Think MTB」「(3)Closed & Open & Zapping」に大別しており、下記URLの「YCPK」で山口からのき封閉への再アプローチを考えています。 ▼先行山口/山口サイクリングプロジェクト研究会(仮称) https://bikejoy.web.fc2.com/toretsure/GR/JKM_Memo.htm#1 考えられている、確定部分は無い状態、概観的には「懸案・調整」としてはありますが、事業内容的には「フラーベーパー」/「学習 THT26」「CS コラボ AB」を、組織的には「県西部」と「県東部」に共同代表を置き、「県央」に事務局を設置する形「(1)」を検討しています。 また、超グーの山道走行や、玉石混濁自転車ソフトについては、守備範囲外とし、別枠で当たる形「(2)」「(3)」を想定しています。 と言った形の窓口分組案ですが、如何でしょうか？ 他のメンバーや、追加予定メンバーにも、同様のメールを出した上で、一度、集まりを持ちたいと思います。 以上、宜しくお願いいたします。 (いへまる) ※別紙の動きとして、12月18日(土)に英株市八代(くもろ) (旧八代小学校)で、観光生サミットとのコラボ企画の打ち合わせを行う予定です。</p>	<p>(案内メールの内容を転記)</p>
<p>・オレンジロワイール実行委員会(仮称) ☆OTA/***** *****⇒懸案・調整</p>	<p>・きらめき財団への再アプローチ/永田昌秀様、井上桂様</p>	<p>きらめき財団への再アプローチ/永田昌秀様、井上桂様 お世話になります。 コロナ禍で発生した生活環境がある中、組織的にご活躍のことをご察いたします。またお話しを聞いて頂きありがとうございます。 そのお話をした後はサイクル車やましろの継続企画を考えている中で、その後、藤原高野 MTB フェアードの可能性が上がり、ほぼ決定済みでそれを控えています。 そのひとつ、「オレンジロワイールから高原大会」を2019年夏のリニューアルを実施しています。 さらに MTB フェアードの可能性を探りましたが、自然保護団体との交渉不調に、コロナ禍が重なり、せまか県から「サイクルステーション」の認定を受けたものの、急ブレーキ状態。 それでは「ワイズコ」を受け入れられず、少しもも前を向いたこと、この9月になってから、らかん高原CS秋場所の企画調整を、関係者に相談しながら、再度のオレンジロワイール実施を目指しましたが、やはりと言うか、独立自然公園の壁により当りたてしまいました。 藤原高野 MTB フェアードの可能性を「トレイルメンテナンス」をコア企画に、徐々に守備範囲を広げようと思いましたが、岩国市の石橋を叩いても貰えない姿勢に、二歩前進、三歩後退を余儀なくされた状況です。 そこでここが本題です。サイクル車やましろの関連企画や、実験企画の話しを、改めて聞いて頂きたいと思っています。 2020年3月に山口きらめき財団に「山口サイクリングプロジェクト研究会準備室」として、助成金の交付申請をしました。 その結果は不採択で、理由は、「内容的には問題ないが、申請者が準備室なので、正式に立ち上げから、再申請して欲しい」と言うもの。 藤原高野がサイクルステーションに認定されたことも含め、ハード、ソフト、インフラ、ハードの4要素で自転車の走行環境を考えたものでした。 そして、藤原高野で MTB 寄りの自転車走行環境を考える場合、自転車市民獲得パートナー「ロード＆オープン」が利用可能と考えました。 それは「シノバカイズ重宝山見メゾム」のように、表向きはレースメニューで募集して、内容的にはツーリングメニューで人気を博す形で、山道走行のグループを徐々にホワイトにするもの、それを藤原高野で具体化しようと思いましたが、やはり、見届いた！！ 確かに、岩国市の無理解や、自然公園の壁はありますが、山代羅エリアの可能性を分析できたこと、そして、サイクルステーションの認定を受けたこと、さらに現在のMTBダンクヘルドの単行職員や、県内最大No.1ショップのオーナーや、車庫連、県協会の理事などとも連絡を取っており、実験企画の続きを「先行山口」として行うことは有意義だと思っています。 さらに、この9月以降、短期間ながら、農林水産事務所の担当者や、観光生サミットのスタッフ、地域おこし協力隊に就任した新入との意見交換等もあり、新しく古い「自転車観光メンテナンス」という考えに舵を切る決断をしたところでです。 藤原高野地元の化驗から、山口自然公園へは観光型自転車利用を、「先行山口」と「自転車観光メンテナンス」の関係を整理して下記URLにまとめた上でのご連絡になります。 ▼WJ/M/自転車観光メンテナンス(とは?) https://bikejoy.web.fc2.com/toretsure/GR/JKM_001112.htm#flow ▼WJ/M/自転車観光メンテナンス(とは?) https://bikejoy.web.fc2.com/toretsure/GR/JKM_001112.htm#flow その「自転車観光メンテナンス」は、MTB企画で自転車市民獲得を目指す「ロード＆オープン」に、スタッフが自然増殖する「開拓方式」と、観光資源変化を自転車目線で観察する「観光メンテナンス」を加えたもので、言い換えるなら、サイクリング先進の自然増殖する玉石混濁自転車ソフトを容納する「地域貢献型マルチサイクリングクラブ」を立ち上げ、人材育成や地域資源再発見や地域課題解決との接点を増やし、日常利用とスポーツ利用の両輪を推し進めるもの、となります。 その実証実験企画「先行山口」は、「(1)Think Cycling」「(2)Think MTB」「(3)Closed & Open & Zapping」に大別しており、下記URLの「YCPK」で山口からのき封閉への再アプローチを考えています。 ▼先行山口/山口サイクリングプロジェクト研究会(仮称) https://bikejoy.web.fc2.com/toretsure/GR/JKM_Memo.htm#1 考えられている、確定部分は無い状態、概観的には「懸案・調整」としてはありますが、事業内容的には「フラーベーパー」/「学習 THT26」「CS コラボ AB」を、組織的には「県西部」と「県東部」に共同代表を置き、「県央」に事務局を設置する形「(1)」を検討しています。 また、超グーの山道走行や、玉石混濁自転車ソフトについては、守備範囲外とし、別枠で当たる形「(2)」「(3)」を想定しています。 山口からのき封閉への再アプローチには、団体の設立が条件となっており、「県西部」「県央」「県東部」に等しく協力者を求め、長門県内でネットワークを構築されている永田昌秀さん、関市の深草で MTB 企画を企画している井上桂さんに県西部のお話を聞いて頂きたく、メールした次第です。 ご挨拶の程、何ぞよろしくお願ひ申し上げます。 ▼参考：事前の調査 https://bikejoy.web.fc2.com/toretsure/GR/JKM_Memo.htm#1 ※前掲の通り、申請に際しては活動日は前倒しと変更はありますが、設立を目指す事業内容だったため、そこは若干異なります。 具体的には、「フラーベーパー」は同様で、「学習 THT26」も提案型イベント実施の中にあつたのですが、「CS コラボ AB」は新たなものです。 サイクルステーションやショップが自転車愛好家のそれぞれの得意分野を合わせて守備範囲を広げるもので、転道研で提唱している「ゲーム」の延長にある、ロードワイド用の「コマ地域パーク」と、ポタリング用の「メルボル自転車さん」を想定しています。 何故「ゲーム」なのか？本家なら「三種のツーリングコンパニオン」としたところですが、MTB が転道研ではないので、転道研のサイクリングチームで行われた、駅前サイクリングクラブの状況を打聴したいからです。 その詳細は、他に協力者を求めたい人がおり、同様のメールを出した上で、さらに一度、集まりを持った上で、その続きとしたいと思います。 ご返信がなければ、ご意見を聞ければ幸いです。以上、宜しくお願いいたします。 (いへまる) ※長文と謝罪文章、失礼しました。</p>	<p>(案内メールの内容を転記)</p>
<p>③Closed & Open & Zapping ゲーム旅/玉石混濁ソフト 街道・山道・町の道・ザッピング</p>	<p>・いわくに研究会プラス ★ICD+/バス&清流流、モトカーヴェロ、福袋選定 ⇒ 懸案・調整</p>	<p>大塚様 お世話になります。(長文失礼します) 今年3月の「ワンダリングZ山代(注)」では、上手く接点が持てず残念でした。 ただその後、サイクルステーション企画の試走等に付き合っており、今後とも山代羅エリアでの企画にご協力をお願いしたいと思います。 大変お世話になりました。終了後の反省会にも出席して頂き、重ねてお礼申し上げます。 その反省会でも申し上げたように、いわゆる研究会(注)では、合併で拡大した岩国市の福祉化を目指しており、それは町と里とで離れた生活環境のバランスを見直すことです。 私自身、高校時代から過疎化や環境破壊(当時は公害問題)に関心を持っていました。それはサイクリングで岩国市を巡るだけで、農校や規模縮小校を多く目にしており、また目の前の瀬戸内海のPCB汚染ショックを受けていました。 大学、社会人と、サイクリングを通じて、クラブ運営や、団体の守備範囲や、仕事の幅など、有形無形の影響があり、その中には、日本の自転車走行環境の矛盾(注)も含まれていました。 その矛盾のひとつに、都会と田舎の格差差もあり、それを埋めようために、欧米の自転車道事情を学びに行きました。 そして導入したのが「これとハイウェイ(注)」であり、その全日本版が「レイド・オープンディアン1998/砂鉄のみちをゆく(注)」のコース調査に依り、町と里のバランスの崩壊を確信しました。 それは地形を頼りに山陰の山間に続く谷筋の道を探っている時、最もある民家で、おじいさんのおじいさんの代には、この先の峠を越えて行商に付たとの情報を得て、苦勞して何となく抜けたことでした。しかしその情報は、今後は必要ない。 そして「レイド・オープンディアン2009/銀の道・銀の道」で、山代エリアの古道を調査し、このエリアの可能性に触れ、設立したばかりのいわくに研究会に対して、山代エリアへのアプローチも説明し、2011年には「岩国あるたドライブ(注)」の原案も作成した。柳井や岩国の里山で行って中断していた「これとハイウェイ」を、「やましろ MTB ツアーズ(注)」として実験企画的に復活させたのは2016年4月。そして、「有らかん高原の林社長に出会ったのが2017年元旦で、そこから今に至っています。 やましろ編です。 山代羅エリアで山道走行や玉石混濁自転車ソフトについては、守備範囲外とする可能性はありますが、藤原高野の特殊性に悩まされた部分もありです。 コロナ禍で発生した風潮、県から「サイクルステーション」に認定され、イベントが許可されました。 それを機として「藤原と話し合/「E/バイクフィールド！」」を機として、この9月になってから、らかん高原サイクルステーションの委嘱の本格オープンを目指して、そのキックオフイベントとして2019年夏も実施したレゾロロイールを計画しましたが、やはりと言うか、独立自然公園の壁により当りたてしまいました。(※オレンジロワイール当日、広中さんから天井画を拝見していました) 藤原高野で「トレイルメンテナンス」をコア企画に、徐々に守備範囲を広げようと思いましたが、岩国市の石橋を叩いても貰えない姿勢に、二歩前進、三歩後退を余儀なくされ、「自転車観光メンテナンス」という、新しく古い考えに舵を切ったところで。 「トレイルメンテナンス」は、MTBの山道走行環境問題に向き合うもの、矛盾のひとつです。 その解決策として「ロード＆オープン」があります。 それは「シノバカイズ重宝山見メゾム」のように、表向きはレースメニューで募集して、内容的にはツーリングメニューで人気を博す形で、山道走行のグループを徐々にホワイトにするもの、それを藤原高野で具体化しようと思いましたが、やはり、見届いた！！ 確かに、岩国市の無理解や、自然公園の壁はありますが、山代羅エリアの可能性を分析できたこと、そして、サイクルステーションの認定を受けたこと、さらに現在のMTBダンクヘルドの単行職員や、県内最大No.1ショップのオーナーや、車庫連、県協会の理事などとも連絡を取っており、実験企画の続きを「先行山口」として行うことは有意義だと思っています。 さらに、この9月以降、短期間ながら、農林水産事務所の担当者や、観光生サミットのスタッフ、地域おこし協力隊に就任した新入との意見交換等もあり、新しく古い「自転車観光メンテナンス」という考えに舵を切る決断をしたところでです。 藤原高野地元の化驗から、山口自然公園へは観光型自転車利用を、「先行山口」と「自転車観光メンテナンス」の関係を整理して下記URLにまとめた上でのご連絡になります。 ▼WJ/M/自転車観光メンテナンス(とは?) https://bikejoy.web.fc2.com/toretsure/GR/JKM_001112.htm#flow ▼WJ/M/自転車観光メンテナンス(とは?) https://bikejoy.web.fc2.com/toretsure/GR/JKM_001112.htm#flow その「自転車観光メンテナンス」は、MTB企画で自転車市民獲得を目指す「ロード＆オープン」に、スタッフが自然増殖する「開拓方式」と、観光資源変化を自転車目線で観察する「観光メンテナンス」を加えたもので、言い換えるなら、サイクリング先進の自然増殖する玉石混濁自転車ソフトを容納する「地域貢献型マルチサイクリングクラブ」を立ち上げ、人材育成や地域資源再発見や地域課題解決との接点を増やし、日常利用とスポーツ利用の両輪を推し進めるもの、となります。 その実証実験企画「先行山口」は、「(1)Think Cycling」「(2)Think MTB」「(3)Closed & Open & Zapping」に大別しており、下記URLの「YCPK」で山口からのき封閉への再アプローチを考えています。 ▼先行山口/山口サイクリングプロジェクト研究会(仮称) https://bikejoy.web.fc2.com/toretsure/GR/JKM_Memo.htm#1 考えられている、確定部分は無い状態、概観的には「懸案・調整」としてはありますが、事業内容的には「フラーベーパー」/「学習 THT26」「CS コラボ AB」を、組織的には「県西部」と「県東部」に共同代表を置き、「県央」に事務局を設置する形「(1)」を検討しています。 また、超グーの山道走行や、玉石混濁自転車ソフトについては、守備範囲外とし、別枠で当たる形「(2)」「(3)」を想定しています。 と言った形の窓口分組案ですが、如何でしょうか？ 他のメンバーや、追加予定メンバーにも、同様のメールを出した上で、一度、集まりを持ちたいと思います。 以上、宜しくお願いいたします。 (いへまる) ※別紙の動きとして、12月18日(土)に英株市八代(くもろ) (旧八代小学校)で、観光生サミットとのコラボ企画の打ち合わせを行う予定です。</p>	<p>(案内メールの内容を転記)</p>

		<p>たのが2017年元旦で、そこから今に至っています。</p> <p>やっと本題です。</p> <p>山上集落を繋ぐ山道や旧街道が交錯する山代羅漢エリアで、定期的なMTBツアー開催を目指してはほぼ住み込み状態でその可能性を探っていますが、羅漢高原の特殊性に悩まされた部分もあります。</p> <p>コロナ禍に見舞われる直前、県から「サイクルステーション」に認定され、Eバイクが貸与されました。</p> <p>それを活用した「羅漢と言えど?/Eバイクフィールド!!」を標榜して、この9月になってから、もろもろ高原サイクルステーションの業務の本格オープンを目指して、そのキックオフ企画として2019年夏にも実施したオレンジトワイラーを計画しましたが、やはりと言うか、県立自然公園の壁にぶち当たってしまいました。(※オレンジトワイラー当日、広中さんが天井画を視察しています。)</p> <p>羅漢高原での「トレイルメンテナンス」をコア企画に、徐々に守備範囲を広げようと思っていましたが、岩国市の石橋を叩いても渡らない姿勢に、二歩前進、三歩後退を余儀なくされ、「自転車観光メンテナンス」という、新しく古い考えに舵を切ったところで。</p> <p>「トレイルメンテナンス」は、MTBの山道走行環境問題に向き合うもので、矛盾のひとつです。</p> <p>その解消策として「クロズド&オープン」があります。</p> <p>それは「シマノバイカーズin富士見パノラマ」のように、表向きはレースメニューで募集して、内容的にはツーリングメニューで人気を博す形で、山道走行のグレイゾーンを徐々にホワイトにするもの。</p> <p>それを羅漢高原で具体化しようと思いましたが、やはり、数目でした...</p> <p>確かに、岩国市の無理解や、自然公園法の壁はありますが、山代羅漢エリアの可能性を分析できたこと、そして、サイクルステーションの認定を受けたこと、さらに現役のMTBダウンヒルライダーの県庁職員や、県内実績No.1ショップのオーナーや、県車連、県協会の理事長なども連絡を取っており、実験企画の続きを「先行山口」として行うことは有意義だと思っています。</p> <p>さらに、この9月以降、短期間ながら、農林水産事務所の担当者や、産後再生サミットのスタッフ、地域おこし協?隊に着任した新人との意見交換等もあり、新しく古い「自転車観光メンテナンス」という考えに舵を切る決断をしたところで。</p> <p>羅漢高原拠点化企画から、山口全県企画へと優先順位転換を決め、「先行山口」と「自転車観光メンテナンス」の関係を整理して下記URLにまとめた上でご連絡になります。</p> <p>▼JKM/新たな考え(先行山口・概要調整) https://bikejoy3.web.fc2.com/toretoresGR/JKM_Memo.htm#JKM_Ken</p> <p>▼JKM/自転車観光メンテナンス(とは?) https://bikejoy3.web.fc2.com/toretoresGR/JKM_001112.htm#towa</p> <p>その「自転車観光メンテナンス」は、MTB企画で自転車市民獲得を目指す「クロズド&オープン」に、スタッフが自然増殖する「掛川方式(注)」と、観光資源変化を自転車目線で観察する「観光メンテナンス(注)」を加えたもので、言い換えるなら、サイクリング先達が自然増殖する玉石混濁自転車ソフトを許容する「地域貢献型マルチサイクリングクラブ」を立ち上げ、人材育成や地域資源再発見や地域課題解決との接点を増やし、日常利用とスポーツ利用の調を定めるもの、となります。</p> <p>その実証実験企画「先行山口」は、全県企画としての「(1)Think Cycling」、限定地域企画としての「(2)Think MTB」、そして進に全国展開も視野にした「(3)Closed&Open&Zapping」に大別しており、それぞれ「山口きらめき財団」、「岩国市みんなの夢をはぐくむ交付金」、「自転車協会 or JKA」へのアプローチを検討したいと思っています。</p> <p>そして本題の核心です。</p> <p>「ライド・オプション」で山代エリアのお宝山道を発見し、「やましろMTBツアー」でその可能性を広げ、「羅漢高原MTBフィールド」で自然公園法の壁にぶち当たり、初心に戻って実験企画「MTBリパティフィールド」を提案したいと思案。</p> <p>下記URLの「SSKY」の概要等は、未記入⇒懸念・調整となっていますが、西伊豆古道再生プロジェクト(注)の松本潤一郎氏の講演会を聞いての仮のネーミングです。</p> <p>▼先行山口/山道再生計画やましろ(仮称) https://bikejoy3.web.fc2.com/toretoresGR/JKM_Memo.htm#2-1</p> <p>そのネーミングも含め、リパティフィールドの守備範囲や、MTBツアーやMTBラリーの定期開催に向けて、組織をある程度固めたいと思います。</p> <p>そしてその事務局をお願い出来ればと思います。</p> <p>シンプル組織を考えていますが、課題は前述の通り複雑なため、設立趣意書も作成しますので、その上でご検討下さい。</p> <p>他の協力予定メンバーにも、同様のメールを出した上で、一度、集まりを持ちたいと思います。</p> <p>尚、「もろもろ高原サイクルステーション」は、市の施設内の委託管理事業のため、リパティフィールドに関しては、理解者であり利用者という、一歩離れた立場で、後援依頼予定の臨川観光協会等と同じになります。</p> <p>以上、宜しくお願ひ申し上げます。</p> <p>(いしまる)</p>	
	<p>※関連した動きとして、12月18日(土)に美祿市八代めぐり(旧八代小学校)で、産後再生サミットとのコラボ企画の打ち合わせを行う予定です。</p> <p>※(注)は、下記URLをご参照下さい。</p> <p>▼ワンダリングZ山代 http://www.bike-joy.com/ICD_WDRZ.htm</p> <p>▼いむくに研究会 http://bikejoy.web.fc2.com/IwaKENdummy/IwaKEN.htm</p> <p>▼日本の自転車走行環境の矛盾 https://bikejoy3.web.fc2.com/toretoresGR/JKM_001112.htm#towa1</p> <p>▼とれとれバイク https://bikejoy2.web.fc2.com/toretoresGR/Rakan_TrailMaintenance.htm#tore</p> <p>▼ライド・オプション http://bikejoy.web.fc2.com/toretoresGR/Yamashiro_Trail_Maintenance.htm#2009</p> <p>▼「岩国なるたドライブ」の原案 http://bikejoy.web.fc2.com/IwaKENdummy/IwaKEN.htm#ICD</p> <p>▼やましろMTBツアー https://bikejoy2.web.fc2.com/toretoresGR/Rakan_TrailMaintenance.htm#fnt</p> <p>▼「掛川方式」と「観光メンテナンス」 https://bikejoy3.web.fc2.com/toretoresGR/JKM_001112.htm#towa2</p> <p>▼西伊豆古道再生プロジェクト http://bikejoy.web.fc2.com/toretoresGR/Yamashiro_Trail_Maintenance.htm#2020</p> <p>* * 世話になります。</p>	<p>春雷でソフトを売ろう! / 徳島大学/山中英生様</p> <p>ご挨拶しております。(乱文乱字します)不定期に送って頂く、自転車作り関連の案内は、貴重な情報となりました。ありがとうございます。</p> <p>また見ていらっしゃるか分かりませんが、2018年2月に「転道研 Compass2018東国遠征中報告」と題したメールを送っており、今回は約4年越しの続きになります。</p> <p>そのメールは、「サイクルズやましろProject」と「サイクルエイドジャパン」の連携の可能性を探るため県民有志と同行しての自転車協会訪問から始まり、それから転道研の説明に各所を回り、そこに知り合いの国会議員も含まれることを報告したものでした。</p> <p>その後、転道研企画の一部、「明治維新150周年企画/毛利チャレンジ2018」をTH26の集大成として実施し、改めてほぼ住み込み状態で山代羅漢高原でのMTB企画に時間を費やしている中、コロナ禍で急ブレーキ状態は、皆さんと同様かと。</p> <p>それでは「サイクルズやましろ in 富士見パノラマ」を先立込めながら、少しも手を離さないで、この9月になってから、もろもろ高原サイクルステーションの業務の本格オープンに向けた準備を開始しながら始まりましたが、想定外とは言え、やはりぶち当たってしまいました。</p> <p>羅漢高原での「トレイルメンテナンス」をコア企画に、徐々に守備範囲を広げようと思っていましたが、岩国市の石橋を叩いても渡らない姿勢に、二歩前進、三歩後退を余儀なくされ、「自転車観光メンテナンス」という、新しく古い考えに舵を切ったところで。</p> <p>「トレイルメンテナンス」は、MTBの山道走行環境問題に向き合うもので、私の良く行く「日本の実情」のひとつです。</p> <p>その解消策と言うか、MTB寄りの自転車市民獲得登壇ルートとして「クロズド&オープン」があります。</p> <p>それは「シマノバイカーズin富士見パノラマ」のように、表向きはレースメニューで募集して、内容的にはツーリングメニューで人気を博す形で、山道走行のグレイゾーンを徐々にホワイトにするもの。</p> <p>それを羅漢高原で具体化しようと思いましたが、やはり、数目でした...</p> <p>確かに、岩国市の無理解や、自然公園法の壁はありますが、山代羅漢エリアの可能性を分析できたこと、そして、サイクルステーションの認定を受けたこと、さらに現役のMTBダウンヒルライダーの県庁職員や、県内実績No.1ショップのオーナーや、県車連、県協会の理事長なども連絡を取っており、実験企画の続きを「先行山口」として行うことは有意義だと思っています。</p> <p>さらに、この9月以降、短期間ながら、農林水産事務所の担当者や、産後再生サミットのスタッフ、地域おこし協?隊に着任した新人との意見交換等もあり、新しく古い「自転車観光メンテナンス」という考えに舵を切る決断をしたところで。</p> <p>羅漢高原拠点化企画から、山口全県企画へと優先順位転換を決め、「先行山口」と「自転車観光メンテナンス」の関係を整理して下記URLにまとめた上でご連絡になります。</p> <p>▼JKM/新たな考え(先行山口・概要調整) https://bikejoy3.web.fc2.com/toretoresGR/JKM_Memo.htm#JKM_Ken</p> <p>▼JKM/自転車観光メンテナンス(とは?) https://bikejoy3.web.fc2.com/toretoresGR/JKM_001112.htm#towa</p> <p>その「自転車観光メンテナンス」は、MTB企画で自転車市民獲得を目指す「クロズド&オープン」に、スタッフが自然増殖する「掛川方式(注)」と、観光資源変化を自転車目線で観察する「観光メンテナンス(注)」を加えたもので、言い換えるなら、サイクリング先達が自然増殖する玉石混濁自転車ソフトを許容する「地域貢献型マルチサイクリングクラブ」を立ち上げ、人材育成や地域資源再発見や地域課題解決との接点を増やし、日常利用とスポーツ利用の調を定めるもの、となります。</p> <p>その実証実験企画「先行山口」は、全県企画としての「(1)Think Cycling」、限定地域企画としての「(2)Think MTB」、そして進に全国展開も視野にした「(3)Closed&Open&Zapping」に大別しており、それぞれ「山口きらめき財団」、「岩国市みんなの夢をはぐくむ交付金」、「自転車協会 or JKA」へのアプローチを検討したいと思っています。</p> <p>そして本題の核心です。</p> <p>「ライド・オプション」で山代エリアのお宝山道を発見し、「やましろMTBツアー」でその可能性を広げ、「羅漢高原MTBフィールド」で自然公園法の壁にぶち当たり、初心に戻って実験企画「MTBリパティフィールド」を提案したいと思案。</p> <p>下記URLの「SSKY」の概要等は、未記入⇒懸念・調整となっていますが、西伊豆古道再生プロジェクト(注)の松本潤一郎氏の講演会を聞いての仮のネーミングです。</p> <p>▼先行山口/山道再生計画やましろ(仮称) https://bikejoy3.web.fc2.com/toretoresGR/JKM_Memo.htm#2-1</p> <p>そのネーミングも含め、リパティフィールドの守備範囲や、MTBツアーやMTBラリーの定期開催に向けて、組織をある程度固めたいと思います。</p> <p>そしてその事務局をお願いする必要があります。</p> <p>シンプル組織を考えていますが、課題は前述の通り複雑なため、設立趣意書も作成しますので、その上でご検討下さい。</p> <p>他の協力予定メンバーにも、同様のメールを出した上で、一度、集まりを持ちたいと思います。</p> <p>尚、「もろもろ高原サイクルステーション」は、市の施設内の委託管理事業のため、リパティフィールドに関しては、理解者であり利用者という、一歩離れた立場で、後援依頼予定の臨川観光協会等と同じになります。</p> <p>以上、宜しくお願ひ申し上げます。</p> <p>(いしまる)</p>	<p>(案内メールの内容を転記)</p>
<p>・4Jチーム山口 ★4J/萌黄&紅葉・150ト ナメント・山口ブルベ・さん いん1300・集計アプリ</p>	<p>転道研十</p>	<p>マイティデュロー再開に向けて/中澤謙雄様</p> <p>お世話になります。</p> <p>岩国市の奥地、山代羅漢エリアにはほぼ住み込み状態になって4年が経過しようとしています。それも、約30年係わったS社のMTB販売企画から解き放たれたからですが、昔のMTB販売は如何かと...</p> <p>また表裏の、長年の関係、小海町産後再生プロジェクトの進展や、同日開催のレイルワンとの兼ね合いで中断したものを、東日本大会と西日本大会の交流企画として再開を模索するものです。</p> <p>その西日本大会を、羅漢高原MTBフィールド内の「クロズド&オープン」企画として具体化しようと思って活動し、協力の理解者を得たが、県のサイクルステーション認定も受けたところでコロナ禍に見舞われ、急ブレーキ状態に。</p> <p>それでは「サイクルズやましろ in 富士見パノラマ」を先立込めながら、少しも手を離さないで、この9月になってから、もろもろ高原サイクルステーションの業務の本格オープンに向けた準備を開始しながら始まりましたが、想定外とは言え、やはりぶち当たってしまいました。</p> <p>羅漢高原での「トレイルメンテナンス」をコア企画に、徐々に守備範囲を広げようと思っていましたが、岩国市の石橋を叩いても渡らない姿勢に、二歩前進、三歩後退を余儀なくされ、「自転車観光メンテナンス」という、新しく古い考えに舵を切ったところで。</p> <p>「トレイルメンテナンス」は、MTBの山道走行環境問題に向き合うもので、私の良く行く「日本の実情」のひとつです。</p> <p>その解消策と言うか、MTB寄りの自転車市民獲得登壇ルートとして「クロズド&オープン」があります。</p> <p>それは「シマノバイカーズin富士見パノラマ」のように、表向きはレースメニューで募集して、内容的にはツーリングメニューで人気を博す形で、山道走行のグレイゾーンを徐々にホワイトにするもの。</p> <p>それを羅漢高原で具体化しようと思いましたが、やはり、数目でした...</p> <p>確かに、岩国市の無理解や、自然公園法の壁はありますが、山代羅漢エリアの可能性を分析できたこと、そして、サイクルステーションの認定を受けたこと、さらに現役のMTBダウンヒルライダーの県庁職員や、県内実績No.1ショップのオーナーや、県車連、県協会の理事長なども連絡を取っており、実験企画の続きを「先行山口」として行うことは有意義だと思っています。</p> <p>さらに、この9月以降、短期間ながら、農林水産事務所の担当者や、産後再生サミットのスタッフ、地域おこし協?隊に着任した新人との意見交換等もあり、新しく古い「自転車観光メンテナンス」という考えに舵を切る決断をしたところで。</p> <p>羅漢高原拠点化企画から、山口全県企画へと優先順位転換を決め、「先行山口」と「自転車観光メンテナンス」の関係を整理して下記URLにまとめた上でご連絡になります。</p> <p>▼JKM/新たな考え(先行山口・概要調整) https://bikejoy3.web.fc2.com/toretoresGR/JKM_Memo.htm#JKM_Ken</p> <p>▼JKM/自転車観光メンテナンス(とは?) https://bikejoy3.web.fc2.com/toretoresGR/JKM_001112.htm#towa</p> <p>その「自転車観光メンテナンス」は、MTB企画で自転車市民獲得を目指す「クロズド&オープン」に、スタッフが自然増殖する「掛川方式(注)」と、観光資源変化を自転車目線で観察する「観光メンテナンス(注)」を加えたもので、言い換えるなら、サイクリング先達が自然増殖する玉石混濁自転車ソフトを許容する「地域貢献型マルチサイクリングクラブ」を立ち上げ、人材育成や地域資源再発見や地域課題解決との接点を増やし、日常利用とスポーツ利用の調を定めるもの、となります。</p> <p>その実証実験企画「先行山口」は、全県企画としての「(1)Think Cycling」、限定地域企画としての「(2)Think MTB」、そして進に全国展開も視野にした「(3)Closed&Open&Zapping」に大別しており、それぞれ「山口きらめき財団」、「岩国市みんなの夢をはぐくむ交付金」、「自転車協会 or JKA」へのアプローチを検討したいと思っています。</p> <p>そして本題の核心です。</p> <p>「ライド・オプション」で山代エリアのお宝山道を発見し、「やましろMTBツアー」でその可能性を広げ、「羅漢高原MTBフィールド」で自然公園法の壁にぶち当たり、初心に戻って実験企画「MTBリパティフィールド」を提案したいと思案。</p> <p>下記URLの「SSKY」の概要等は、未記入⇒懸念・調整となっていますが、西伊豆古道再生プロジェクト(注)の松本潤一郎氏の講演会を聞いての仮のネーミングです。</p> <p>▼先行山口/山道再生計画やましろ(仮称) https://bikejoy3.web.fc2.com/toretoresGR/JKM_Memo.htm#2-1</p> <p>そのネーミングも含め、リパティフィールドの守備範囲や、MTBツアーやMTBラリーの定期開催に向けて、組織をある程度固めたいと思います。</p> <p>そしてその事務局をお願いする必要があります。</p> <p>シンプル組織を考えていますが、課題は前述の通り複雑なため、設立趣意書も作成しますので、その上でご検討下さい。</p> <p>他の協力予定メンバーにも、同様のメールを出した上で、一度、集まりを持ちたいと思います。</p> <p>尚、「もろもろ高原サイクルステーション」は、市の施設内の委託管理事業のため、リパティフィールドに関しては、理解者であり利用者という、一歩離れた立場で、後援依頼予定の臨川観光協会等と同じになります。</p> <p>以上、宜しくお願ひ申し上げます。</p> <p>(いしまる)</p>	<p>(案内メールの内容を転記)</p>
<p>・MTB24 時間耐久レース実行委員会 ★M24A/西日本大会・東日本大会・二年跨ぎ企画</p>	<p>転道研十</p>	<p>MTB24時間耐久レース実行委員会</p> <p>お世話になります。</p> <p>岩国市の奥地、山代羅漢エリアにはほぼ住み込み状態になって4年が経過しようとしています。それも、約30年係わったS社のMTB販売企画から解き放たれたからですが、昔のMTB販売は如何かと...</p> <p>また表裏の、長年の関係、小海町産後再生プロジェクトの進展や、同日開催のレイルワンとの兼ね合いで中断したものを、東日本大会と西日本大会の交流企画として再開を模索するものです。</p> <p>その西日本大会を、羅漢高原MTBフィールド内の「クロズド&オープン」企画として具体化しようと思って活動し、協力の理解者を得たが、県のサイクルステーション認定も受けたところでコロナ禍に見舞われ、急ブレーキ状態に。</p> <p>それでは「サイクルズやましろ in 富士見パノラマ」を先立込めながら、少しも手を離さないで、この9月になってから、もろもろ高原サイクルステーションの業務の本格オープンに向けた準備を開始しながら始まりましたが、想定外とは言え、やはりぶち当たってしまいました。</p> <p>羅漢高原での「トレイルメンテナンス」をコア企画に、徐々に守備範囲を広げようと思っていましたが、岩国市の石橋を叩いても渡らない姿勢に、二歩前進、三歩後退を余儀なくされ、「自転車観光メンテナンス」という、新しく古い考えに舵を切ったところで。</p> <p>「トレイルメンテナンス」は、MTBの山道走行環境問題に向き合うもので、私の良く行く「日本の実情」のひとつです。</p> <p>その解消策と言うか、MTB寄りの自転車市民獲得登壇ルートとして「クロズド&オープン」があります。</p> <p>それは「シマノバイカーズin富士見パノラマ」のように、表向きはレースメニューで募集して、内容的にはツーリングメニューで人気を博す形で、山道走行のグレイゾーンを徐々にホワイトにするもの。</p> <p>それを羅漢高原で具体化しようと思いましたが、やはり、数目でした...</p> <p>確かに、岩国市の無理解や、自然公園法の壁はありますが、山代羅漢エリアの可能性を分析できたこと、そして、サイクルステーションの認定を受けたこと、さらに現役のMTBダウンヒルライダーの県庁職員や、県内実績No.1ショップのオーナーや、県車連、県協会の理事長なども連絡を取っており、実験企画の続きを「先行山口」として行うことは有意義だと思っています。</p> <p>さらに、この9月以降、短期間ながら、農林水産事務所の担当者や、産後再生サミットのスタッフ、地域おこし協?隊に着任した新人との意見交換等もあり、新しく古い「自転車観光メンテナンス」という考えに舵を切る決断をしたところで。</p> <p>羅漢高原拠点化企画から、山口全県企画へと優先順位転換を決め、「先行山口」と「自転車観光メンテナンス」の関係を整理して下記URLにまとめた上でご連絡になります。</p> <p>▼JKM/新たな考え(先行山口・概要調整) https://bikejoy3.web.fc2.com/toretoresGR/JKM_Memo.htm#JKM_Ken</p> <p>▼JKM/自転車観光メンテナンス(とは?) https://bikejoy3.web.fc2.com/toretoresGR/JKM_001112.htm#towa</p> <p>その「自転車観光メンテナンス」は、MTB企画で自転車市民獲得を目指す「クロズド&オープン」に、スタッフが自然増殖する「掛川方式(注)」と、観光資源変化を自転車目線で観察する「観光メンテナンス(注)」を加えたもので、言い換えるなら、サイクリング先達が自然増殖する玉石混濁自転車ソフトを許容する「地域貢献型マルチサイクリングクラブ」を立ち上げ、人材育成や地域資源再発見や地域課題解決との接点を増やし、日常利用とスポーツ利用の調を定めるもの、となります。</p> <p>その実証実験企画「先行山口」は、全県企画としての「(1)Think Cycling」、限定地域企画としての「(2)Think MTB」、そして進に全国展開も視野にした「(3)Closed&Open&Zapping」に大別しており、それぞれ「山口きらめき財団」、「岩国市みんなの夢をはぐくむ交付金」、「自転車協会 or JKA」へのアプローチを検討したいと思っています。</p> <p>そして本題の核心です。</p> <p>「ライド・オプション」で山代エリアのお宝山道を発見し、「やましろMTBツアー」でその可能性を広げ、「羅漢高原MTBフィールド」で自然公園法の壁にぶち当たり、初心に戻って実験企画「MTBリパティフィールド」を提案したいと思案。</p> <p>下記URLの「SSKY」の概要等は、未記入⇒懸念・調整となっていますが、西伊豆古道再生プロジェクト(注)の松本潤一郎氏の講演会を聞いての仮のネーミングです。</p> <p>▼先行山口/山道再生計画やましろ(仮称) https://bikejoy3.web.fc2.com/toretoresGR/JKM_Memo.htm#2-1</p> <p>そのネーミングも含め、リパティフィールドの守備範囲や、MTBツアーやMTBラリーの定期開催に向けて、組織をある程度固めたいと思います。</p> <p>そしてその事務局をお願いする必要があります。</p> <p>シンプル組織を考えていますが、課題は前述の通り複雑なため、設立趣意書も作成しますので、その上でご検討下さい。</p> <p>他の協力予定メンバーにも、同様のメールを出した上で、一度、集まりを持ちたいと思います。</p> <p>尚、「もろもろ高原サイクルステーション」は、市の施設内の委託管理事業のため、リパティフィールドに関しては、理解者であり利用者という、一歩離れた立場で、後援依頼予定の臨川観光協会等と同じになります。</p> <p>以上、宜しくお願ひ申し上げます。</p> <p>(いしまる)</p>	<p>(案内メールの内容を転記)</p>